

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果（尼崎市の所管区域内）

（尼崎市 都市整備局 都市計画部 建築指導課）

<建築物の耐震改修の促進に関する法律附則第3条第3項において準用する同法第9条の規定に基づく公表>

※次の各表における耐震診断の結果は、震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示します。安全性の評価がいずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模の地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはないとされています。

※次の各表における「耐震改修等の予定」欄は、「大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い」(末尾の附表の区分Ⅲ)と評価され耐震改修等の必要がないとされる場合に「－」を記載しているほか、耐震改修等の予定が部分ごとに異なる場合にも「－」を記載しています。

■幼稚園

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	園田慈愛幼稚園	尼崎市食満5丁目179番地	幼稚園	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Is0=1.07 C _{TU} ・S ₀ =0.66	－	－	Is0=0.7(U=1.16)
2	百合学院幼稚園	尼崎市小中島2丁目125番地	幼稚園	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Is0=1.07 C _{TU} ・S ₀ =0.47	－	－	Is0=0.7(U=1.16)

■小学校、中学校、中等教育学校の前期課程又は特別支援学校

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
3	竹谷小学校(本校舎・体育館)	尼崎市北竹谷町2丁目36番外	小学校	－	－	－	－	－
	本校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Is0=1.07 C _{TU} ・S ₀ =0.83		Is0=0.7(U=1.16)	
	体育館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	Is=0.76 q=1.84			

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
4	下坂部小学校(北棟・西便所棟・東便所棟・東棟・南棟)	尼崎市下坂部1丁目90番外	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_0=0.43$	—	—	$I_{so}=0.7(U=1.16)$
5	長洲小学校(北棟・東棟)	尼崎市長洲東通3丁目52番	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_0=0.69$	—	—	$I_{so}=0.7(U=1.16)$
6	金楽寺小学校(管理棟・便所棟・南東棟)	尼崎市金楽寺町2丁目50番	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_0=0.46$	—	—	$I_{so}=0.7(U=1.16)$
7	浜小学校(特別教室棟・西南棟・北棟・西北棟)	尼崎市浜2丁目517番外	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_0=0.37$	—	—	$I_{so}=0.7(U=1.16)$
8	大庄小学校(北棟)	尼崎市大庄中通4丁目43番1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.18$ $C_{TU} \cdot S_0=0.92$	—	—	$I_{so}=0.7(U=1.16)$
9	大庄小学校(南東棟・南西棟・便所棟)	尼崎市大庄中通4丁目43番1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.10$ $C_{TU} \cdot S_0=0.83$	—	—	$I_{so}=0.7(U=1.16)$
10	成徳小学校(本校舎・西便所棟・東便所棟)	尼崎市蓬川町302番2	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.10$ $C_{TU} \cdot S_0=0.80$	—	—	$I_{so}=0.7(U=1.16)$
11	浜田小学校(北西棟・北便所棟・南棟・南便所棟・北東棟)	尼崎市浜田町3丁目110番	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ $C_{TU} \cdot S_0=0.45$	—	—	$I_{so}=0.7(U=1.16)$
12	立花南小学校(北東棟・管理棟・便所棟・南棟)	尼崎市三反田町2丁目41番2外	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_0=0.45$	—	—	$I_{so}=0.7(U=1.16)$
13	立花西小学校(北棟・便所棟・南棟)	尼崎市南武庫之荘3丁目126番外	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so}=1.25$ $C_T \cdot S_0=0.32$	—	—	$I_{so}=0.7(U=1.16)$

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
14	立花北小学校(管理棟・北棟・給食室棟)	尼崎市栗山町2丁目99番外	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{TU} \cdot S_D=0.42$	—	—	$I_{so}=0.7(U=1.16)$
15	塚口小学校(西北棟・北棟・東棟・便所棟・南東棟)	尼崎市塚口町4丁目38番1外	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.79$	—	—	$I_{so}=0.7(U=1.16)$
16	尼崎北小学校(東北棟・東南棟・特別教室棟)	尼崎市塚口町6丁目21番1外	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.50$	—	—	$I_{so}=0.7(U=1.16)$
17	七松小学校(東北棟・東棟・北棟)	尼崎市南七松町1丁目68番	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.53$	—	—	$I_{so}=0.7(U=1.16)$
18	武庫小学校(中東棟・中西棟・南棟・南便所棟・北棟・北便所棟)	尼崎市武庫元町2丁目19番10	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ $C_{TU} \cdot S_D=0.81$	—	—	$I_{so}=0.7(U=1.16)$
19	武庫南小学校(南棟・給食室棟・渡り廊下棟・南機械室棟・北東棟・北西棟・北機械室棟)	尼崎市武庫町4丁目161番外	小学校	—	—	—	—	—
	南棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_T \cdot S_D=0.32$	—	—	$I_{so}=0.7(U=1.16)$
	給食室棟・渡り廊下棟・南機械室棟・北東棟・北西棟・北機械室棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ $C_{TU} \cdot S_D=0.83$	—	—	$I_{so}=0.7(U=1.16)$

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
20	武庫北小学校(北棟・西便所棟・東便所棟・特別教室棟・南棟)	尼崎市常松2丁目328	小学校	—	—	—	—	—
	北棟・西便所棟・東便所棟・南棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.02$ $C_{T1} \cdot S_D=0.30$	—	$I_{s0}=0.7(U=1.16)$	
	特別教室棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.08$ $C_{T1U} \cdot S_D=0.40$	—	$I_{s0}=0.7(U=1.16)$	
21	武庫庄小学校(管理棟・北東棟・便所棟・南棟)	尼崎市武庫之荘本町3丁目305番	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.08$ $C_{T1U} \cdot S_D=0.44$	—	—	$I_{s0}=0.7(U=1.16)$
22	武庫の里小学校(管理棟・北東棟・渡り廊下棟)	尼崎市武庫の里1丁目113番外	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.08$ $C_{T1U} \cdot S_D=0.39$	—	—	$I_{s0}=0.7(U=1.16)$
23	園田小学校(南棟・中棟・南便所棟・給食室棟・南西棟)	尼崎市食満1丁目17番外	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.02$ $C_{T1U} \cdot S_D=0.47$	—	—	$I_{s0}=0.7(U=1.16)$
24	園田北小学校(南棟・管理棟・給食室棟)	尼崎市猪名寺2丁目832番1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.05$ $C_{T1U} \cdot S_D=0.64$	—	—	$I_{s0}=0.7(U=1.16)$
25	園和北小学校(北棟・南棟・渡り廊下棟)	尼崎市田能1丁目63番外	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.08$ $C_{T1U} \cdot S_D=0.32$	—	—	$I_{s0}=0.7(U=1.16)$

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
26	小園小学校(北棟・南中棟・南東棟・南西棟・渡り廊下棟・便所棟)	尼崎市若王寺3丁目182番	小学校	—	—	—	—	—
	北棟・南中棟・南東棟・南西棟・渡り廊下棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_T \cdot S_D=0.32$	—	Iso=0.7(U=1.16)	
	便所棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.25$ $C_{TU} \cdot S_D=1.02$	—	Iso=0.7(U=1.16)	
27	園田南小学校(管理棟・南東棟・便所棟・給食室棟)	尼崎市若王寺1丁目1番1外	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ $C_{TU} \cdot S_D=0.35$	—	—	Iso=0.7(U=1.16)
28	中央中学校(北東棟・北中棟・東便所棟・北西棟・西便所棟)	尼崎市東七松町2丁目1番4	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.38$	—	—	Iso=0.7(U=1.16)
29	小田北中学校(北棟・中棟・南棟・体育館)	尼崎市神崎町70番5外	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.36$	—	—	Iso=0.7(U=1.16)
30	大成中学校(北棟・特別教室棟・東便所棟・西便所棟)	尼崎市久々知西町2丁目99番外	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ $C_{TU} \cdot S_D=0.44$	—	—	Iso=0.7(U=1.16)
31	武庫中学校(南棟・北東棟・北西棟・渡り廊下棟)	尼崎市武庫元町2丁目18番29	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.37$	—	—	Iso=0.7(U=1.16)
32	南武庫之荘中学校(北東棟・管理棟・渡り廊下棟・南西棟・南東棟・東便所棟)	尼崎市南武庫之荘4丁目139番	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{TU} \cdot S_D=0.55$	—	—	Iso=0.7(U=1.16)
33	武庫東中学校(管理棟・南東棟・南中棟)	尼崎市武庫之荘7丁目54番外	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ $C_{TU} \cdot S_D=0.57$	—	—	Iso=0.7(U=1.16)

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
34	小園中学校(管理棟)	尼崎市小中島2丁目87番外	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_0=0.74$	—	—	$I_{so}=0.7(U=1.16)$

■病院、診療所

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
35	医療法人尼崎厚生会 立花病院	尼崎市立花町4丁目50番1外	病院	—	—	未定	未定	中館と北館の除却や全体の移転・建替えの事業計画を検討中
	本館・東館・南館・北館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=0.117$ $C_{TU} \cdot S_0=0.13$			
	中館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.04$ $q=0.20$			

■劇場、観覧場、映画館、演芸場

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
36	尼崎市総合文化センター(文化棟・ホール棟)	尼崎市昭通通2丁目73番地外	劇場	—	—	未定	未定	・集会場部分あり ・現在、施設機能の見直しを実施しており、その結果を踏まえ、平成29年度に耐震工法を決定し、平成30年以降に対応予定
	文化棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が充腹材の場合)	$I_s/I_{so}=0.483$ $C_{TU} \cdot S_0=0.23$			
	ホール棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=0.448$ $C_{TU} \cdot S_0=0.27$			

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
37	園田競馬場スタンド	尼崎市田能2丁目110番外	観覧場	—	—	—	—	勝馬投票券発売所・飲食店・店舗部分あり
	スタンド第6投票所・スタンド西棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.23$ $C_{TU} \cdot S_0=0.414$	—	—	
	第5投票所			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_s=0.95$ $q=3.82$	—	—	
	スタンド東棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.26$ $C_{TU} \cdot S_0=0.5$	—	—	
	スタンド西階段・スタンド東階段			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.84$ $q=2.88$	—	—	
	第6投票所避難通路・第5投票所避難通路・第4投票所避難通路			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.74$ $q=2.48$	—	—	
	総合事務所			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=0.48$ $C_{TU} \cdot S_0=0.31$	未定	未定	管理エリアであり、不特定多数が利用する観客利用部分ではないため、平成28・29年の耐震改修工事では実施しない
	総合事務所渡り廊下			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.47$ $q=1.40$			

■百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
38	塚口さんさんタウン1番館	尼崎市南塚口町2丁目860番地	物品販売業を営む店舗	—	—	—	—	
	1階～8階・塔屋1階			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)(鉄骨が充腹材の場合)	Is/Is ₀ =1.048 C _{TU} ・S _D =0.250			
	地下3階～地下1階			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Is ₀ =1.001 C _{TU} ・S _D =0.620			
39	塚口さんさんタウン2番館	尼崎市南塚口町2丁目861番地	物品販売業を営む店舗	—	—	—	—	共同住宅部分あり
	1階～塔屋2階			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1997年版)(鉄骨が充腹材の場合)	Is/Is ₀ =1.00 C _T ・S _D =0.31			
	地下2階、地下1階			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Is ₀ =1.16 C _{TU} ・S _D =0.75			

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
40	立花ジョイタウン	尼崎市七松町1丁目342番地	物品販売業を営む店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=0.68$ $C_{TU} \cdot S_0=0.42$	未定	未定	飲食店・共同住宅部分あり
41	太洋ビルディング	尼崎市下坂部2丁目204番外	物品販売業を営む店舗	—	—	未定	未定	ボーリング場・遊技場・診療所・飲食店部分あり
	鉄筋コンクリート造部分			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=0.10$ $C_{TU} \cdot S_0=0.06$			
	鉄骨造部分			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.11$ $q=0.46$			

■博物館、美術館、図書館

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
42	文化財収蔵庫	尼崎市南城内10番地2	博物館	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.84$	—	—	$I_{so}=0.7(U=1.16)$

■保健所、税務署その他これらに類する公益上必要な建築物

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
43	尼崎市役所本庁舎(南館・議会棟・中館)	尼崎市東七松町1丁目1番外	市庁舎	—	—	—	—	
	南館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.025$ $C_{TU} \cdot S_D=0.530$			
	議会棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.005$ $C_{TU} \cdot S_D=0.648$	渡り廊下含む		
	中館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1983年版)	$I_s/I_{so}=1.01$	$I_{so}=0.7(U=1.16)$		

■危険物の貯蔵場又は処理場の用途に供する建築物

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
44	日本製鉄株式会社 関西製鉄所(尼崎地区) 冷間小径管西工場	尼崎市東高洲町2番地、東向島西之町1番地1	工場	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.6$ $q=1.4$			

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

耐震診断の方法		構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
		I	II	III
1 (3-2)	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	$I_s < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leq I_s$ かつ $1.0 \leq q$
2 (5-2)	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_T \cdot S_D < 0.15$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.3 \leq C_T \cdot S_D \leq 1.25$ $1.25 < C_T \cdot S_D$
3 (5-3)	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$
4 (5-4)	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1983年版)	$I_s/I_{so} < 0.5$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$
5 (5-5)	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1997年版)	鉄骨が充腹材の場合 $I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_T \cdot S_D < 0.125 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_T \cdot S_D$
6 (5-6)	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)	鉄骨が充腹材の場合 $I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.125 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$
7 (7)	「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_s < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.7 \leq I_s$ かつ $1.0 \leq q$

- I. 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
- II. 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
- III. 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

※建築物の位置については、地名地番で記載しています。

※耐震診断の結果は、震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示します。安全性の評価がいずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の規模の地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはないとされています。

※「耐震改修等の予定」欄は、「大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い」(附表の区分III)と評価され耐震改修等の必要がないとされる場合に「一」を記載しているほか、耐震改修等の予定が部分ごとに異なる場合にも「一」を記載しています。

※ I_{so} (構造耐震判定指標)については、用途を考慮してU(用途係数)を割り増している場合は備考欄に記載し、備考欄に記載のない場合は基本指標の0.6となります。

※ $C_T \cdot S_D$ 又は $C_{TU} \cdot S_D$ の評価におけるZ(地域係数)、 R_t (振動特性係数)、G(地盤係数)及びU(用途係数)については、備考欄に記載のある場合を除き1となります。